

## シンポジウムの参加申込について -会場参加・オンライン参加共通-

【ネット申込】 応募フォームから同伴3名までお申込みいただけます。  
フォームに必要事項をご記入ください。

申込期限 2月10日(火)



応募フォームは右記QRコードか下記URLから。

Peatixアカウントにログインするか、新規登録でPeatixアカウントを作成してお申込みください。

<https://hikonejo-symposium3.peatix.com>

【ハガキ申込】 2月9日(月)必着。参加方法(会場・オンライン)・代表者の氏名・3名までの同伴者の氏名・メールアドレス(オンライン参加の場合は必ずご記載ください)・配慮が必要な方はその内容を記載の上、お申込みください。

※会場参加については応募者多数の場合は先着順となります。オンライン参加に定員はございません。

※オンライン参加者にはPeatix上のメッセージ(ハガキ申込の方は記入されたメールアドレス宛にメールを送付)にて、参加案内(LIVE配信先のURL)と資料のダウンロード方法を送信いたします。

※本シンポジウムの内容は後日、滋賀県文化財保護課公式YouTubeチャンネルで配信予定です。

### 【お申込・お問合せ先】

〒520-0818 滋賀県大津市西の庄19-10リンクスビル 株式会社エフエム滋賀 彦根城世界遺産登録推進シンポジウム係  
TEL 077-527-0814 (平日9:00~17:00)

### アクセス

#### 米原市役所本庁舎1階 コンベンションホール

住所 〒521-8501 滋賀県米原市米原1016番地

●米原駅東口 徒歩約1分

●JR米原駅と連絡通路で直結

※庁舎駐車場は2時間を超えると有料



**彦根城Favorite ~ひこふあぼ~**

聴けばきっと、彦根城がもっと好きになる♪

放送日時 毎週金曜日 15時50分~55分

提 供 彦根城世界遺産登録推進協議会

パーソナリティ 森田 恵奈

放送局 e-radio / エフエム滋賀 e-radio LAKESIDE FM77.0 周波数 77.0MHz

「彦根城Favorite ~ひこふあぼ~」は彦根城の世界遺産登録を目指し、彦根城の魅力や世界遺産について滋賀県の皆さんに発信するラジオ番組です。ぜひ、お聴きください。



令和8年 2月11日 水・祝

13:00-17:00 (開場 12:30)

場所 米原市役所本庁舎1階  
コンベンションホール

入場無料 先着200名  
オンライン同時開催 事前申込制

申込期限 2月10日(火) (ハガキ申込は2月9日(月)必着)

主催/彦根城世界遺産登録推進協議会  
共催/滋賀県・彦根市・滋賀県教育委員会・彦根市教育委員会  
後援/一般社団法人 日本イコモス国内委員会・世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム

江戸時代の城を考える  
「地方統治拠点としての城」

世界遺産  
登録推進  
シンポジウム



## 開催趣旨

17世紀前半の混沌とした世界の国々の一つとして、日本では、徳川による政治体制が成立しスタートした。結果として、その仕組みは2世紀半にもわたる社会の安定に寄与した。これらを支え大きな役割を果たしたのは、全国に平均化する形で設置された大名による地方統治である。城は、その統治の拠点であり、政権のシンボルであった。

安土城築城から始まる織豊期城郭の成立から江戸時代の城の成立過程を読み解き、明らかにすることにより、これらの歴史的意義とその価値を大きくクローズアップすることができる。平和を象徴し戦わないことを目指した城。城は、軍事施設から政治の場へと、その機能を変化させていった。



今、あらためて本シンポジウムを通じ、これら江戸時代の城の価値を学術的に問い合わせことで、彦根城が目指す世界遺産登録を考えたい。

## 登壇者プロフィール

### 特別講演登壇者・パネルディスカッションパネリスト



三重大学特任教授(名誉教授)  
ふじた たつお  
藤田 達生 氏

1958年、愛媛県生まれ。神戸大学大学院文化学研究科博士課程修了。学術博士。三重大学副学長、同教育学部・大学院地域イノベーション学研究科教授を経て、現在は三重大学特任教授(名誉教授)。主な著書に、『藤堂高虎論—初期藩政史の研究』(壇書房、2018年)、『本能寺の変』(講談社学術文庫、2019年)、『藩とは何か—「江戸の泰平」はいかに誕生したか』(中公新書、2019年)、『災害とたたかう大名たち』(角川選書、2021年)、『国替の誕生』(壇書房、2025年)、『藤堂高虎』(ミネルヴァ書房〈日本評伝選〉、2026年)など多数。

### パネルディスカッションコーディネーター



関西国際大学教授・京都府立大学名誉教授  
むねた よしふみ  
宗田 好史 氏

浜松市生まれ。法政大学大学院修士、ピサ大学、ローマ大学大学院をへて、イタリア歴史的都市再生の研究で工学博士(京都大学)。国際連合地域開発センターを経て、1993年から京都府立大学、2016年副学長、2022年名誉教授、2022年から関西国際大学教授。国際記念物遺跡会議(ICOMOS)国内委員、京都市景観まちづくりセンター理事など。

13:00 開会 挨拶 田島一成(彦根城世界遺産登録推進協議会副会長、彦根市長)

13:10 特別講演 「近世城郭とは何か～軍事拠点から統治拠点へ～」

..... 藤田達生氏(三重大学特任教授(名誉教授))

14:10 休憩

14:20 事例報告 1 「近世城郭としての和歌山城」

..... 伊津見孝明氏(和歌山市和歌山城整備企画課)

2 「近世城郭としての高松城」 大嶋和則氏(高松市文化財課)

14:50 休憩

15:00 パネルディスカッション 「江戸時代の城を語る」

パネリスト

藤田達生氏(三重大学特任教授(名誉教授))

パネリスト

伊津見孝明氏(和歌山市和歌山城整備企画課)

パネリスト

大嶋和則氏(高松市文化財課)

パネリスト

木戸雅寿(滋賀県文化財保護課)

コーディネーター

宗田好史氏(関西国際大学教授・京都府立大学名誉教授)

17:00 閉会 挨拶 三日月大造(彦根城世界遺産登録推進協議会会長、滋賀県知事)

